

ウェブを活用した試作加工システムを京都から世界へ (京都試作ネット)

会社概要(平成25年5月現在)

- 所在地: 京都府京都市伏見区竹田藁屋町43
(株)クロスエフェクト内
- 代表者: 代表理事 竹田正俊
- 売上高: 2億8,000万円
- 従業員数: 1,000名(コア企業の従業員総数)
- URL: <http://kyoto-shisaku.com>

①事業概要

< 試作加工 >

京都試作ネットは、「顧客の思いを素早く形に変える」をコンセプトに平成13年7月に京都府南部に所在する機械金属関連の中小企業10社が共同で立ち上げた「試作に特化したソリューション提供サービス」を専門とするサイト。部品加工に関わるあらゆる試作案件に対応し、量産を見越しての部品試作や、デザインなど品質面チェックのための試作をはじめ、部品のコストダウン検証等にも対応。参加企業は23社(コア企業)で、従来からの切削加工や表面処理だけでなく、ソフトウェア開発企業も加わり多業種に渡っている。

ウェブを活用して案件を受注するという画期的な仕組みをいち早く採用し、開発段階で最も重要視される「スピード」を最優先に、国内外からの需要に応えている。

②海外展開概要

<ウェブを活用した欧米への販路開拓>

プロトタイプではなく、「shisaku(試作)」という言葉の世界共通語にし、フロントランナーとして、前例のない「試作」というサービスを海外で提供していきたいという思いから、平成24年4月に国際営業部を立ち上げた。「試作」を世界共通語にするためには、まず定義づけをする必要がある。図面を示されてから試作するのでは遅く、図面のない段階から開発試作していかないと付加価値がつかないと考えている。

伝統的であるけれど新しく、熟成された文化・品位・品格のある「京都らしさ」を、世界に届けたいと思っている。

また海外でビジネスするためには、HPへのアクセスのしやすさや、レスポンスの早さ、メニューのわかりやすさ等が大切だと考えている。

そこで京都試作ネットではウェブシステムへの投資を重視しており、事例紹介ページを飽きの来ないようこまめに更新したり、SEO対策(※)をしたりするなど工夫している。

(※)例えば、検索エンジンで「試作」と検索をかけると、「京都試作ネット」のHPが検索結果画面の上位に表示されるよう対策を行うこと。

③取組の重点(活用した支援策を含む)

平成24年度JAPANブランド育成支援事業を活用し、「The World SHISAKU Valley Project」として「丁寧できめ細やかな試作加工」技術を活かした、医療・エネルギー・ロボット等の成長分野における試作開発ニーズの掘り起こしを通じて、海外販路のマーケティング戦略を策定した。

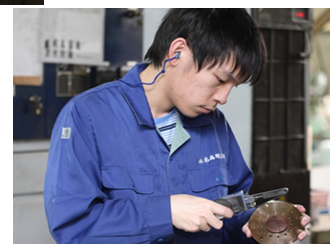
また平成24年9月に米国シカゴで開催されたIMST(世界工作機械展)に出展し、その後ロサンゼルスでの展示会を視察して、ターゲット市場の開拓を図っている。

④今後の事業展開について

バーチャル(インターネット)とリアル(展示会)を両輪として、これまで国内受注で顧客を獲得してきた実績から、国際的な活動もこの方法で展開していくつもり。海外から京都へビジネスを誘致し、「試作は京都から生み出される」という環境を作っていきたい。欧米で営業し、試作品の製作はあくまで京都で行うというビジネスモデルの構築を目指している。



▲ IMST出展時の様子



▲ 試作品開発の様子
(平成25年5月現在)
データ出所: 近畿経済産業局